

両毛広域ネットワーク

両毛四市の各商工会議所会頭は、年頭にあたり、会員に向けてあいさつし、新年の事業方針を明らかにしています。

足利商工会議所



相馬 稔会頭

明けましておめでとうございます。

皆様はどんなお正月をお過ごしでしょうか。今年は暦のめぐりあわせで、ゆっくりとできた方も多かったのではないのでしょうか。そんな皆様に両毛を舞台にした小説をご紹介します。

それは、昨秋に文庫化された奥田英朗著「リバー上・下」(集英社文庫)で、渡良瀬川を舞台にした推理小説です。県境にまたがる事件が発生し、栃木・群馬の両県警が合同で力をあわせて事件を解決に導きます。足利、太田、桐生など小説に登場する実際の現場を思い浮かべながら、正月休暇の読書を楽しめました。現在、両毛五市の広域観光推進者会議で取り組んでいる地域発信事業のアイテムとして、ゆくゆくは映画化やドラマ化も期待したいと思います。

生活圏、経済圏を共にする両毛五市商工会議所も、両県警の合同捜査のように一層連携を強めて、地域課題の解決と地域経済の発展を図ることをお誓い申し上げ、新年の挨拶いたします。

佐野商工会議所



三好 仁会頭

新年あけましておめでとうございます。

市内企業の景況感は改善傾向にありますが、少子高齢化に伴う構造的な「人手不足」が深刻化しており、加えて、長引く「原材料費・エネルギーコストの高騰」により、収益が圧迫され、依然として厳しい状況が続いています。

このような状況のもと、当所に求められる会員企業へのスピーディな情報提供と個別の企業に対する伴走支援、定住促進を見据えた街づくりや地域活性化を推進する事業を重点施策に掲げ、地域経済の振興発展のため積極的に取り組んでまいります。

今年は特に、「事業承継対策」と「創業するなら佐野で」というキャッチフレーズのもと行われる「創業支援」を同時に行い、市や商工会などの関係機関と連携し「オール佐野」の体制で、きめ細やかな支援を行います。

結びに皆様の御健勝と企業の御発展、そして本年が皆様にとりまして幸多き年、飛躍の年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

太田商工会議所



加藤 正己会頭

2026年の新春を迎え、両毛五市商工会議所の皆様には改めて新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、度重なる自然災害、急激な円安と物価高、国際情勢の変動に加え、人手不足や米国の相互関税の影響など、企業を取り巻く環境が大きく揺れ動きました。まさにVUCA(ブーカ)時代を象徴する一年であつたと存じます。

こうした不確実な局面だからこそ、本年の干支である午年がもつ「躍動」「跳躍」「道を切り開く力」を心に、地域が一丸となって前へと踏み出すことが重要であると考えます。

両毛地域で商工業に携わる私たちが連携し、原材料高対策、人材育成・確保の協働、サプライチェーンの広域強化といった、単独では成し得ない取り組みを推し進めることで、地域経済に新たな駆動力を生み出していくものと確信しております。

太田商工会議所は、皆様の挑戦を支え実効性ある支援策を展開し、地域全体の底力をさらに高めてまいる所存です。結びに、本年が、皆様にとって健康で、駿馬のごとく力強く駆け上がる一年となりますことを、心よりご祈念申し上げます。

桐生商工会議所



津久井真澄会頭

2026年の年頭にあたり、両毛五市会議所会員の皆様には新年の挨拶を申し上げます。

わが国経済は、長期にわたる低インフレ・低成長から脱したとはいえ、地域経済における中小企業・小規模事業者は労務費の増大や物価上昇によるコスト負担増に直面しています。経済の好循環から成長へとつなげる道筋は見えているものの、地域経済全体の底上げにはなお課題が多いのが実情です。

商工会議所は、管内事業者の持続的な継続・発展に向けて、その取り組みは今までのどの時代にも増して大きく重いものであると感じています。

昨秋の議員改選での新体制のもと、桐生地域の多くの課題に取り組んでまいります。まずは中小・小規模事業者の経営支援、コロナ禍の影響を現在まで引きずっている事業所も多く、事業継続とさらなる発展のための手厚い経営支援が必要です。また、政策提言については当所内の6部会並びに8委員会の調査・研究、協議を経て、より実効的な内容にして桐生発展の拠り所にしていきたいと思っております。スタートアップ、創業支援としての「桐生イノベーションプロジェクト」の展開、まちづくりと地域活性化にも引き続き取り組んでいきます。

五市の商工会議所が様々な課題を共有して共に挑戦し、2026年が両毛地域の限らない発展につながる年になりますことを祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。